

---

# 願いの言葉

純愛

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

願いの言葉

### 【Nコード】

N7683A

### 【作者名】

純愛

### 【あらすじ】

このお話は望んで別れたのに実際に別れてみたら、凄く後悔してしまっただけというお話なので、そんな経験をしたことのある人に読んでもらいたいです。

ふと耳に入った噂。

“ 愛美に彼氏ができた ”

あの日、どうして君の手を離してしまったんだろう…

一度離してしまったら、もう二度と繋ぐことはできないと分かっていたのに。

あの日は太陽がギンギンに照りつけていた。

「龍ッ!!」

「愛美…ごめん、呼び出して」

「うっん!話って?」

「別れて…ほしい」

本当に暑くて、暑くてたまらない日だった。

太陽は俺等とは裏腹に照りつけ続けていた。

あの時、愛美に悪くて顔上げられなかったけど、知ってたよ。

“うん”って言ったときの愛美の声がすごく震えていたこと。

今にも泣きだしそうだったこと。

どうして君を傷つけたんだろう…

本当は君が辛いとき、傍にいてあげるのが俺の役目だったのに…

なあ…？神様って奴が本当にいるなら、頼むよ。

俺のことはズタズタに傷つけて構わないからさあ…  
あいつを、愛美を世界一幸せにしてほしいんだ…

俺が傷つけちゃった分、新しい彼氏と幸せにしてやって下さい…。

もう二度と繋ぐことの  
できないあの手…  
もう二度と隣で見ることの  
できないあの笑顔…

“俺が守る”と誓ったのに  
君を一番傷つけたのは  
俺だった…  
君を泣かせてしまったのは  
俺だった…

本気で君を愛してた  
本気で本気の恋だった  
それなのに、それなのに…

もう一度、  
あの手を繋ぎたいなんて  
もう一度、  
近くで笑顔が見たいなんて  
そんな図々しいこと  
願わないから。

俺のことはどんな風に  
傷つけたって構わないから

何をしたいがいいから、  
だから、

あいつを世界一の幸せ者にして下さい…

愛する君を

最悪な僕が願う言葉

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7683a/>

---

願いの言葉

2010年10月11日22時48分発行